小林正人「第16章 戦後日本の設備投資と過剰生産能力」2015年

疑問点・論点

コストダウンの**ための**人件費の削減は、消費需要を抑えるという悪循環をもたらすが、そのような問題を決するためにはどうすればいいか？

- A) 人件費の削減をすると、消費需要は必然的に抑えられるので、解決するのは難しい。一気に人件費を削減するのではなく、景気を見ながら少しずつ削減していく。
- B) 人件費を削減するより、設備投資に力をいれる。
- C) 人件費削減により、解雇をされた場合でも次の就職先を見つけるまで、公的に支援する。具体的内容として職業訓練や給付金など。
- D) これまでの製品を作ると同時に新商品を開発し、そこに費用をかけ人件費を減らさないことにより、消費需要と雇用を減らさない。

他班への意見

- A) Bについて：設備投資に力をいれると、よりコストがかかる。
- B) Aについて：結局は人件費を削減するから解決にならない。
Cについて：公的に支援するのに税金をつかうので、消費需要を抑えてしまう。
Dについて：賛成
- C) Dについて：新商品の開発はそう簡単ではない。
- D) AとBについて：景気を見ながら人件費や設備投資をしたほうが現実的なのではないか。